

1994年夏に日最高気温の高い記録を更新した 気象官署と記録が出現した日

1994年の夏は南西諸島を除いて記録的な高温となった。気象庁観測部統計室が発表した日最高気温の高い記録を更新した地点は北海道から九州まで61地点にのぼった。記録を更新した日は地域毎にまとまりがあり、数地点を除けば、図中A～Eの5つのグループに分けることができる。これらの期間の総観場の状況を下に記す。グループB、D、Eについては山脈の風下側のみで高温となっており、フェーン現象がかなり寄与していたと思われる。

グループ(出現日を含む期間) 日本付近の総観場の状況

A(7月15日～7月24日): 日本海や東シナ海に中心をもつ高気圧におおわれた。

B(8月3日～8月5日): 東日本では北よりの風が卓越した。

C(8月6日～8月8日): 本州付近に中心をもつ高気圧におおわれた。

D(8月4日～8月10日): 北海道付近は4, 7, 10日に南西の風が卓越した。

E(8月12日～8月16日): 日本付近は全般に南よりの風が卓越した。

(気象庁予報部長期予報課 藤川典久)

